

個性って何

校長 深沢信吾

Do it your own way. I think that it is a right way.



今の時代は社会を生きる上で、「個性」を強く求められます。「個性」をもつことは大切なことです。しかし、他人より少しばかりできることがあるだけで、それを「個性」と思いこむことは危険があります。それを伸ばさえすればよいと考えて、他の可能性を考えないと社会にうまく適応できなくなるおそれがあるからです。また、「個性」は他人の支持を必要とするため、いつでも他人の視線を意識しなければならない辛苦があります。

私たち人間の遺伝子は99・99%、皆同じだといわれています。自分が個性的であると信じた道に進もうとしているため、結局は個性的ではなくなってしまうこともあります。個性的であろうとすればするほど、ますます個性的でなくなるというパラドックスがここには潜んでいます。

個性的であるかどうかは、眠っている遺伝子をどれだけ自覚めさせるかにかかると思います。つまり自分の可能性の範囲を広く考えるということです。

個性的に生きるのをやめよといふわけではありません。個性的に生きるといふことが他人から常に持たれるよう、確固たる、変化しない自分を築かなければいけないという考え方方に強く拘泥することはやめようということです。

人間はゆらぐものです。ゆらいで変化していくものです。それはそれでかまいません。個性的に生きるのではなく、その変化を肯定し、むしろ楽しまずくらいでちょうどよいのではないかであります。

高校時代にはできるのだし、そのことが「今」を一生懸命に生きる、何かに集中しているのではないかと他人の目を気にしながら生きるのは辛いことです。

高校時代にはできるのだし、そのことが「今」を一生懸命に生きる、何かに集中して、そのことを継続的に行う。それが結果的に個性的に生きるということになります。以前の自分と違うように見たり、固まつたりすると調子が悪いもので、以前の自分と違うように見たり、固まつたりすると調子が悪いのです。

高校時代にはできるのだし、そのことが「今」を一生懸命に生きる、何かに集中して、そのことを継続的に行う。それが結果的に個性的に生きるということになります。

修学旅行 in 沖縄

シーサー、海、琉球音楽のライブ、大きなステーキ。初めての沖縄は、とても楽しく充実していました。(2年男子)

沖縄戦のことや独自の歴史文化ももっと深く知りたいと思うようになりました。また行きたいと思います。(2年女子)



高校生がとても
優しく教えてくれた。

参加者の感想

子供の目が輝いていた。
今後も続けて欲しい。

小中学生より

- とても楽しかった(11名) ●また参加したい(7名)
- 色々な実験ができて楽しかった(3名)
- とても良い体験ができた(2名)
- 色々な体験をして、理科に興味を持った(2名)
- 高校生がとても優しく教えてくれやる気になれた(2名)
- 高校生がとても分かりやすい説明だった(2名)
- 知らないことがよく分かった(特に生物の解剖やDNA)

保護者より

- とても楽しかった(4名) ●子供が楽しそうで良かった(3名)
- 時間がもう少しあると嬉しい(2名) ●来年も参加したい(2名)
- このような素敵なお取り組みを今後も続けて欲しい(2名)
- 子供の目が輝いていた
- 理科離れが多いが、このような作品を作ったり、実験をすることで、理科を好きになると思う。



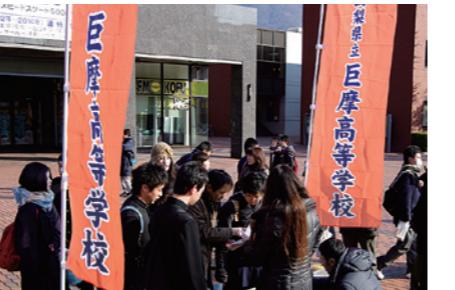
南アルプス理科学教育推進機構について
平成24年度に設置。南アルプス市教委、櫛形中学校、若草中学校、小笠原小学校、豊小学校の代表者と巨摩高校の担当者で組織しており、小中高連携事業について協議しています。

進路情報 大学入試センター試験を167名が受験! 各教科で高得点!!

センター試験は1月18日、19日に、全国で56万人が受験しました。本校からの167人の受験者は、校長先生を始め多くの先生方から激励を受けながら各教科で健闘しました。英語と化学で満点を取った他、各教科で9割を超える得点を記録しています。私立大学や国公立大学の2次試験での健闘を期待しています。

●本校生、英語・数学・国語の最高得点 ※()内は全国平均 単位:点

英語:200(121)・リスニング:50(32)・国語:156(99)・数ⅠA:90(53)・数ⅡB:85(58)
世界史B:91(64)・日本史B:88(42)・地理B:83(63)・現代社会:91(62)・政治経済:91(57)
物理:74(63)・化学:100(64)・生物:86(63)



SSH スーパー サイエンス ハイスクール

平成25年度

わくわくサイエンス in 巨摩高

昨年度に引き続き、今年も「わくわくサイエンス in 巨摩高」が開催されました。この行事は本校がSSH事業を推進することにより、南アルプス地域の科学教育における中核校としての役割を果たすための中心的な事業です。近隣の小中学校に協力を依頼し、本校が設置した「南アルプス理科学教育推進機構」が企画や参加者募集を行っています。

日 時 平成25年12月14日(土) 9:30~11:30

- 実 験
- カルピスの秘密 ●手作りスーパーボール ●重心とバランス
 - ダンシングスネーク ●脳の解剖 ●電気のいらないカラオケマイク
 - DNAを取りだそう ●メビウスの帯 ●よく飛ぶ紙飛行機
 - スーパー万華鏡 ●共振鍋で遊ぼう

参加者 小中学生 58名 保護者 33名

